

榎本悟史 Satoshi Naramoto

東北大学大学院生命科学研究科助教

Email address: satoshi.naramoto.d6@tohoku.ac.jp



【専門】 植物生理学、植物発生生物学、細胞生物学、進化生物学

1977年8月13日 茨城県生まれ：水戸第一高等学校卒業

2001年3月 東京大学理学部生物学科科植物科学課程卒業(福田裕穂教授)

2006年3月 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻博士課程卒業(福田裕穂教授)

2007年-2011年 Gent大学・VIB研究所 博士研究員(Jiri Friml教授)

2011年- 2012年 理化学研究所 基礎科学特別研究員(中野明彦教授)

2011年- 2012年 東京大学大学院理学系研究科 特任助教(福田裕穂教授)

2015年10月 東北大学大学院生命科学研究科 助教(経塚淳子教授)

【官公庁委員、編集委員など】

文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター

科学技術専門家ネットワーク、専門調査委員 (2013年-2015年)

日本植物学会 広報委員会 生物科学ニュース編集委員 (2013年-2014年)

日本植物学会 電子出版物編集委員 (2015年)

東北植物学会 会計 (2016年4月-)

【受賞】 東北植物学会奨励賞(2016年)

【趣味】 テニス、カメラ

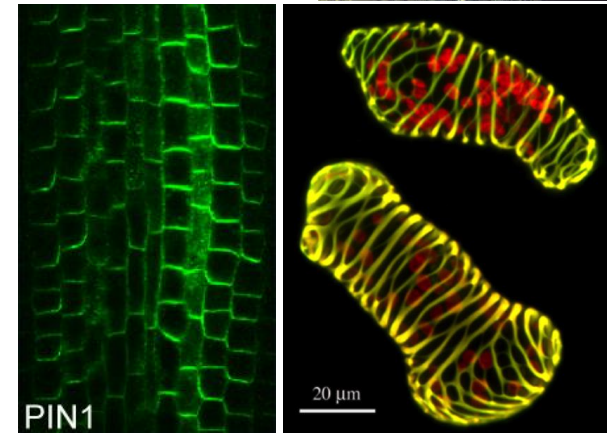
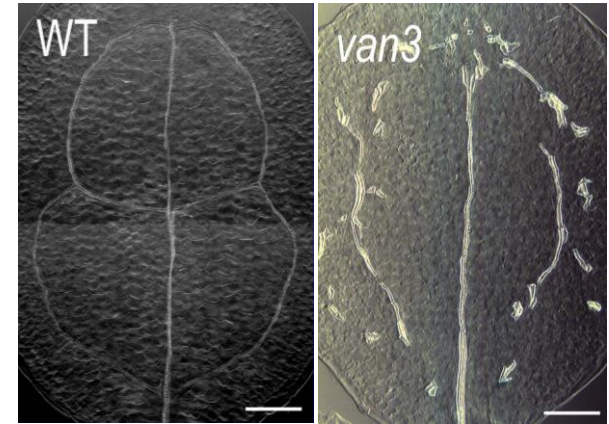
1. 植物維管束細胞の分化制御機構の解析:

Development **2005**, 132, 1699; *Development* **2009**, 136, 1529;

PNAS **2010**, 107, 21890; *Plant Cell* **2014**, 26, 3062;

Plant & Cell Physiol. **2014**, 55, 750

- ・ 細胞内小胞輸送を基盤とした細胞の極性形成が維管束パターンの形成に重要な役割を果たすことを明らかにした.
- ・ 植物ホルモンオーキシンの極性輸送機構の従来のモデルを覆し、新規モデルを提唱した.
- ・ 木部細胞壁形成に働く因子を複数同定した. 現在, それらを用いた木部細胞壁のバイオマス利活用へ向けた技術開発を行っている.



2. 植物幹細胞の機能制御機構とその進化:

・ 維管束植物の幹細胞の機能制御に関わる, 新規転写因子TAWのイネおよびゼニゴケにおける進化発生生物学的解析を行っている.

・ また, イネTAW過剰発現体では, 粒数が増加することから, 現在, 食糧生産性向上へ向けた研究も併せて行っている.

